

家族性大腸腫瘍に関するデータ登録事業への協力をお願い

～「日本におけるリンチ症候群の臨床病理学的特徴に関する調査研究」～

大腸癌は最も身近な癌の一つとして社会的関心が高い疾患の一つです。日本における大腸癌患者数は増加の一途をたどり、近年では日本人の死亡原因の大きな割合を占めています。リンチ症候群は大腸、胃、子宮体部などの臓器に高い確率で癌を発症する遺伝性疾患ですが、通常の大腸癌と比較すると頻度が低く、日常診療での認知度が、極めて低いのが現状です。そのため、この病気に関する日本の研究は乏しく、診療方針の根拠となるデータの多くを海外からの報告に依存しています。しかしながら、癌の発症は、人種や環境により異なることが予測されるため、ガイドラインの内容が日本人にとって適切であるかどうかははっきりいたしません。

この様な背景をもとに、多施設共同研究においてこの問題を解決するための研究が計画されました。星総合病院においても本研究に参加し、情報を提供することにより、日本人におけるリンチ症候群の臨床的特徴や遺伝学的特徴、診療内容の実情・問題点を明らかにし、患者・家族のより良い医療に向けた一歩につなげたいと考えております。

本研究は、日本のリンチ症候群の診療の向上を目的に「家族性大腸腫瘍スタディグループ」施設を中心にして実施いたします。その際、用いられる診療情報は匿名化して研究に利用されますので、プライバシーは守られます。しかし、星総合病院を通じてこの遺伝子検査を実施した方の中で、この研究にご自身の診療情報や遺伝学的情報を利用されることを希望しない場合や、詳しい話を聞きたい場合は担当者にその旨をご連絡ください。研究への利用を拒否しても、今後の診療には全く影響がありません。

研究へのご理解とご協力をお願い申し上げます。

<本多施設共同研究全体における責任者>

埼玉県立がんセンター 腫瘍診断・予防科

赤木 究

<当医療機関における責任者>

公益財団法人星総合病院

外科・がんの遺伝外来

野水 整

(上記研究に関する問い合わせ先)

〒963-8501

福島県郡山市向河原町159番1号

公益財団法人星総合病院 がんの遺伝外来 (本研究担当部署)

TEL: 024-983-5511 (代表)

担当者: 赤間 孝典 (認定遺伝カウンセラー)

野水 整 (外科医師)

*代表電話番号にご連絡いただき遺伝外来の赤間にとお申し付けください。